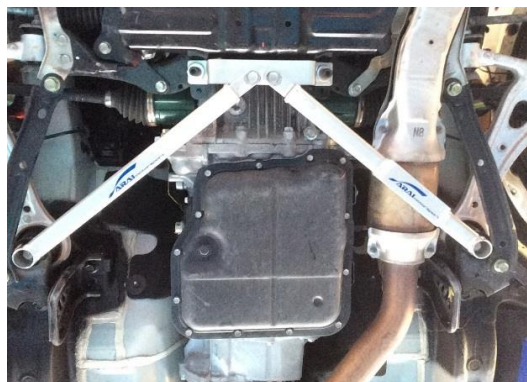


ARAI Motor Sport – Front Member Brace



2018/05/10

FMB001AMS001 WRXSTI LEGACY VAB GRB GVB GRF GVF BP5 BL5 GH8

FMB001AMS002 WRX s 4 Levorg XV VMG VAG V M4 GP(XV)

FMB001AMS003 G 4 (限定品) GP GJ (同フレーム N A 車・5MT 不可)

最初にお読みください

※警告

本製品は自動車の床下作業となりますので、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車専用リフトを使用して安全に作業してください。やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジッドラックを使用して安全に作業してください。パンタグラフジャッキやダルマジャッキは絶対に使用しないでください。車両側の分解組み立てはメーカーの解説書に準拠し安全に配慮し、取り付けは作業者、使用者の責任において行ってください。取り付け前の欠品初期不良を除き、取り付け、使用過程に於いての不具合について弊社は責任を負いかねます。この製品はまやかashiではありません。転舵に対し切っても戻しても忠実に反応しますがドライバースキルに依存します、無用な急ハンドルをしないよう安全運転にご留意ください。

※注意

フロントパイプなど排気系部品との相性で、本製品が最低地上高となる場合に、僅かに地上高値が変化する場合があります。車高を低くされている場合は、適法な状態となりますよう注意し必要に応じた車高などの調整をお願いいたします。

NA 車や XV などのエンジンマウントがソフトなモデルは、排気系部品の相性・スポーツ走行・段差の通過や急加速などで触媒と干渉することがあります。用途・頻度に応じ、キット付属のワッシャで調整するか、フロントパイプブラケットを長穴にするなどしてクリアランスを調整してください。

※FMB001AMS003 は限定品につき、全モデルの適合を取っておりません。画像等を参考にユーザー様側で適合チェックしてください。



ARAI MOTORSPORT

FMB001AMS002

WRX s4 Levorg XV (GP) 系

FMB001AMS003

G4 GP系同フレーム車 5MT 不可

←左図は NA 車 GJ+FMB001AMS003 の取付写真です

1. 部品図

左右ブレース-各1 (この字逃げのあるものはDITターボ車の左用です XVの右用です)

ブラケット-1

M10-1.25 キャップボルト×4+2*

10mm (厚い) ワッシャ×4+2*

M14 (大きい) ワッシャ-2

10mm (薄い) ワッシャ×4*

(* 図示なし XVとNA車で使用します)



2. 取り付けボルトの位置

左右フロントロアアームの後方の取り付けボルト or ナット (M14 で車種により異なる) を取り外します。



前方はクロスメンバーのジャッキプレートの後ろ側のボルト (M10) を左右取り外します。



3.前方に使うブラケットの取り付けは画像を参考に溶接ナットの見え方を後ろ向きにセンタリングしながらM10 キャップボルトで固定します。このときブラケットの前側をメンバーに突き当てながらボルト止めすると斜めになりません。

全てのボルトナットは軽く仮締めで位置調整の後、最後に本締めしてください。 M10 3-4kgf M14 15kgf

☆☆☆DITターボ車の取付☆☆☆

☆☆☆☆DITターボ車はブラケットの上に厚いワッシャを使用。プレースの上も厚いワッシャを使用します。左図はDIT車の画像です

☆☆☆G4などのNA車 FMB001AMS003の取付☆☆☆

☆☆☆☆NA車は、まずクロスメンバーとブラケットの間にM10厚いワッシャを挟んで入れブラケットとボルトヘッドの間にはM10薄いほうのワッシャを入れてください。プレースとブラケットの間もM10厚いワッシャを挟みます。(車種によりエンジンマウントが柔らかかったり触媒が近く干渉する場合は2枚挟んでください) ブラケットとボルトヘッドの間にはM10薄いほうのワッシャを入れてください。左図はNA車の画像です



☆☆☆XV(GP)系の取付 FMB001AMS002☆☆☆

☆☆☆☆NA車と同じく、クロスメンバーとブラケットの間にM10厚いワッシャを挟んで入れブラケットとボルトヘッドの間にはM10薄いほうのワッシャを入れてください。

触媒のある側にコの字逃げのあるプレースを使用します。プレースとブラケットの間もM10厚いワッシャを挟みます。(車種によりエンジンマウントが柔らかかったり触媒が近く干渉する場合は2枚挟んでください) ブラケットとボルトヘッドの間にはM10薄いほうのワッシャを入れてください。

4.後方は元のナットで取り付けます。もし触媒が近いとき、プレースのマウントと車体間に挟むM14ワッシャを添付しています。

(発生トルクマウントのへたり具合 フロントパイプブラケットの状態 マフラー重さなどで干渉の有無は違ってくるので干渉する際は適時選択してください DIT車はそのまま使えますが XVはM14ワッシャ外周を削ってください) 上記の方法でも干渉する場合はフロントパイプのブラケットのTM側穴を長穴にしてパイプ側で調整してください。



